

社会福祉法人千晶会

「～支えあいながら共に暮らす社会をめざして～」



- ◆ 事業所所在地 盛岡市上太田六〇五三
- ◆ 事業内容 社会福祉事業
- ◆ 従業員数 144名
うち障害者数 7名
(障害種別：知的6名、身体1名、うち重度6名)

◆ 障害者雇用の経緯、背景

知的障害者の一般雇用に対する社会の理解がなかなか進まない中であって、(社福)千晶会は自らが1事業所として率先して障害者を雇用してきました。平成8年には、同法人が運営する知的障害者更生施設太田の園の園生3名を1年間の職場実習を経て隣接の同法人が運営する特別養護老人ホーム「千年苑」に職員として採用したほか、平成10年にはクリーニング事業所を開設し、知的障害者に就労の場を提供してきました。また、平成16年に開所した老人デイサービスセンターと知的障害者通所授産施設の複合施設「夢つむぎ城南」に知的障害者を1名雇用し、平成18年4月に開所した知的障害者デイサービスセンターでは車椅子利用の身体障害者を1名雇用しています。

◆ 障害者が従事している具体的な作業内容や配置など、障害者雇用に関して工夫していること

特別養護老人ホームに勤務する重度知的障害者は施設内の清掃、洗濯等の補助業務。複合施設「夢つむぎ城南」に勤務する重度知的障害者は施設内の清掃業務のほか、先輩として施設利用者への指導にも当たっています。また、知的障害者デイサービスセンターでは重度の身体障害者が事務職として勤務し、クリーニング工場では4人の知的障害者が働いています。

◆ 障害者が雇用されるために必要なこと、雇用を継続していくうえでの課題

かつて太田の園に入所していた重度の知的障害のある男性が、55歳の時に盛岡市内の「サトーライン(株)」の園芸部に就職しました。その男性は5年後に定年を迎えたものの、社長の佐藤博美さんが「これからの会社は、環境や福祉に目を向けていく時代です。彼はよく働いてくれるし、この会社にいてくれると、社員教育にもなります。」と話され、その後も雇用が継続されたそうです。

「重度の障害があるから働けないということはないと考えています。雇用され、就労を継続していくために必要なのは、その人の能力で良いから、真面目に働くことです。そして仮に言葉が不自由であっても相手との『関係づくり』に必要な他人に対する思いやり、優しさ、そして仕事を続ける力があれば、重度の障害があっても職場に必要とされる人になり、さらに『職場の中で育っていく』ものです。」(西崎園長)

(取材：労政能力開発課)